

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理的安全性と迅速な相談体制	ご家族が「いつでも相談できる」と感じられる受容的な姿勢を全職員で共有している。	視覚支援が必要なケースなど、心身の状況変化に合わせた個別サポート体制をより強固にし、安心感を高める。
2	職員間の情報共有とチーム支援	連絡ツールや日報を活用し、お子さまの心身の状況や家庭の不安を全職員が把握し、誰でも明一貫した対応ができる体制を整えている。	イレギュラーな対応、配慮が必要な際、迅速に全職員へ周知徹底できるよう共有の仕組みをさらに効率化する。
3	生活の安定と好奇心を刺激するプログラム	活動をあえて固定化（ルーティン化）して安心感を作る一方で、季節行事（ハロウィン等）や特別企画で変化と刺激を与えている。	ご家庭から提案のあった内容の導入を検討し、楽しみながら学べる環境を広げる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建材の強度・耐久性に関する課題	施設は新しいものの壁が衝撃に弱く、日常の活動の中で破損が生じやすい構造となっている。	破損箇所の迅速な修繕。また、壁面の補強（クッション材や保護パネルの設置）を検討し、安全で清潔な空間を維持する。
2	活動スペースの更なる最適化	動きの速いお子さまや、静かに過ごしたいお子さまが混在する中で、現状のスペース活用に限界を感じる場面がある。	レイアウトの工夫による動線分離を強化し、安全な活動の実施に向けた安全管理シミュレーションを行う。
3	保護者向け支援・啓発機会の不足	日々の情報発信は評価されているが、保護者のメンタルケアや学び（アンガーマネジメント等）の場が提供できていない。	社内月別研修、外部講師の招致や資料配布など、保護者様を対象としたサポートプログラム（勉強会等）の実施可能性を模索する。

事業所名 ライズ児童デイサービスいどがや（放デイ）

公表日 2026年3月15日

利用児童数 30

回収数 23

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	0	1	引越し後に見れていない。 広々としており、過ごしやすくて、 みんながしている内容に参加できないと きも居場所があり、ありがたいです。	面談や、イベントでの見学会を設定させ ていただいております。これにより、活 動スペースや配置等、具体的な環境を直 接ご確認いただければ幸いです。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2	0	1	送迎も常に2人体制で安心できます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	4	1	5	バリアフリー設備は我が子は特に必要な いで気にしていません。 施設の入り口には階段があり、視力低下 中のサポートでは職員さんを巻きこんで しまったりして申し訳なかったです。	当施設ビルの玄関からエレベーターまで に4段程の階段がございます。手すりは ついておりますが、歩行が不安定な児童 には引き続きマンツーマンでの対応で、 安心安全を第一にサポートして参りま す。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	21	0	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	22	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	22	1	0	0	固定化されている部分もありながら、そ れが安心できる活動にもなりつつ、季節 に合わせて楽しいプログラムを企画して くださり、飽きることなく楽しんで参加 することができていると感じています。	送迎時の対話を通じて得られるお子様の 情緒面や体調の変化は、支援員間で即座 に共有し、その日の支援の優先順位やア プローチ方法に反映させています。今後 も「現在のニーズ」を逃さず、個別支援 計画の評価や見直しに繋げて参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	18	1	0	4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	22	1	0	0	固定化されている部分もありながら、そ れが安心できる活動にもなりつつ、季節 に合わせて楽しいプログラムを企画して くださり、飽きることなく楽しんで参加 することができていると感じています。	ご意見ありがとうございます。当施設 では、日々の活動をあえてルーティン化 することで、児童の心理的安定を図って おります。安定した土台の上に、季節感 を取り入れた企画を組み合わせること で、意欲を引き出す工夫をしておりま す。今後も、お子さまの安心感を守り つつ、豊かな感性を育むプログラムを提 供してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	7	4	8	同じ利用日のこどもと関わりが持てるだ けで十分です。 現状特に交流の希望はありません 日々の過ごしの中に他の学校の児童との 交流があり、刺激をもらえる環境である と思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 放課後の時間は、お子さまにとってリ ラックスできる時間であることも重要だ と考えております。他校のお友だちと の自然な交流から刺激を受けつつも、負 担になりすぎないように、今後もお子さま お一人おひとりの過ごし方や人間関係の 距離感を見守ってまいります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	21	1	0	0			
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	23	0	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	20	3	0	0	もし親向けのアンガーマネジメント講座 などがあたら参加してみたいです。	保護者様向けの「アンガーマネジメン ト講座」という視点も非常に重要だと感じ ました。お子さまだけでなく、ご家族の 皆様に寄り添えるような機会も、今後の 事業所の課題として大切に預からせてい たきます。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22	1	0	0	LINEやハグの内容をどの職員さん目を通してくださっており、安心感があります。身体的に変化していく子どもの様子に、不安がたくさんありましたが、どの職員さんも明るく変わりなく接していただき、さらに必要になったたくさんのサポートにもこころよく対応くださいました。心身疲弊していましたが、夏休みを乗り越えることができたのはいどがライズの職員さんのサポートのおかげです本当に救われました！！	貴重なご意見ありがとうございます。大切なお子さまの変化に対し、職員間で情報を共有し、一貫した対応を心がけて参りました。「救われた」という言葉は、私共にとって何よりの励みです。今後も状況に応じた丁寧なサポートに努め、ご家庭と一緒に、お子さまの健やかな成長を見守っていききたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0	面談では、問題点にも触れて頂きながら何かい必要なサポートなのか話し合うことができ、ありがたく思っています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	8	6	6	保護者同士の交流は支援学校等のできるので特に必要と感じない。交流の希望は特にないので、なくても問題ないと思っています。	貴重なご意見ありがとうございます。当施設では、保護者様の貴重な時間を尊重し、負担軽減の観点から、現在のところ交流会の実施は予定しておりません。保護者様同士のつながりが他所で確保されているとのことですので、当施設は「お子さまが安心して過ごせる場」としての役割に専念し、個別のご相談等には随時丁寧に対応して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	1	何か不明点やモヤモヤとするときも話をいつでも聞いてくださるため言わずに済ませる と言うことにならず「気持ちを伝えることができる」環境を作ってくださいていることに感謝しています。	温かいお言葉をいただき、大変嬉しく存じます。私たちは、保護者様が「いつでも相談できる」と感じていただけることこそが、お子さまへのより良い支援に繋がると考えております。これからも、どんな小さな「モヤモヤ」でも安心してお話しいただけるよう、職員一同、誠実にお話に耳を傾ける姿勢を大切に参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0	日々のコミュニケーションから意図疎通や情報をきちんと伺えています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	0	1	写真付きで掲載されるため、様子が知れて嬉しいです！	ご家族皆様で活動の様子を楽しんでいたことが、職員にとって大きな励みとなっております。今後も、お子さまの生き生きとした表情や活動内容がより伝わるよう、工夫を凝らした情報発信を継続して参ります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	3		各種マニュアルの見直しや更新に努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	0	0		当施設では、毎年5月と11月の年二回、それぞれに火災や地震を想定した避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	1	職員さんにも親しみを持って接して頂き、そしてライズでの様子を見る限り、リラックスして自分らしく安心して過ごせているように思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	0	1	嫌がる様子はなく、受け入れがスムーズです。特にハロウィーンの時期は楽しそうです今年も何かに仮装できそうでしょうか楽しみです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	0	とても満足していますとくに職員さんたちの人柄や対応に感謝でいっぱいです！	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ライズ児童デイサービスいどがや（放デイ）				公表日	2026年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	9	0	片付けや物の配置等を工夫している。	利用者が多い日は狭さを感じる。物の保管場所の確保が難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	適切な配置になるよう必要な人数スケジュールを組んでいる。	職員の体調不良の際、配置が難しいと感じることがある。また、送迎ができる職員配置のバランスや時間によって職員が手薄に感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	事業所ビルにエレベーター有り。活動室はフラットで、物品なども必要最低限にして整理をしている。駐車場を1台分、ビル1Fの近い場所に変更できた。	手を洗う場所と食器等を洗う場所が同じである為、工夫が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	支援前後の清掃および細部までの消毒をルーティン化し、清潔な環境維持を徹底しています。日々の活動内容やお子さまの特性に合わせ、安全かつスムーズに動けるよう、物の配置やレイアウトの工夫を継続的に行っています。	生活空間の心地よさをさらに向上させるため、壁の穴など破損箇所の補修をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	静養室でクールダウンすることができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	毎月の店舗会議や支援会議、また朝礼や終礼で共有・確認を行っている。	非常勤の職員参加が充分ではないことがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	店舗会議で共有を行っている。	評価表からいただくご意見が少ない為、面談時などに直接お話をさせていただくこともある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	店舗会議や終礼で業務について意見・共有の場を作っている。非常勤職員の参加機会が少ない為、正職員に比べ意見発信の場が少ない。	職員閲覧ボードやノートを使い、共有内容を記録することで、常勤・非常勤に偏りなく確認できるようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	外部評価の機会が少ない。非常勤職員には、外部評価の実施を知らない者がいた。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	月別研修、虐待研修等、定期的な研修の機会がある。	研修を受けたあとの振り返りの機会を作ります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援プログラムや日々の療育の様子をホームページ等で公表している。また、活動予定に関してはHUGアプリにて公開。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	面談時に本人の様子や利用における希望などを伺っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	計画を更新する時期、またそれ以外でも必要に応じて作成時、職員で意見を交わす場を設けている。	意見交換前に、各自意見書を用意してからの検討の場を設けている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個々に合った支援がされていると思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	経過記録を個々につけている。ホワイトボードで全体の動きが確認できる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	半年に一度、あるいは状況の変化に合わせて面談を行い、細かな発達状況などの確認と共有をすることで内容の設定をしている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	月毎に担当者が決められており、その中で意見を話し合う場が作られている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節に沿った工作や調理などは毎月のプログラムに組み入れながら、基本的な流れは変更せず、季節や行事に合わせて内容に変化を持たせている。	外出に関しては、ご家族のニーズや、ご利用児童の特性に合わせて検討したい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	こども達の個々の特性に沿って活動に参加できるように配慮をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	朝礼、終礼にて打ち合わせや担当の確認を行っている。	学校休校日などで、確認の時間の確保が難しいことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終礼にて打ち合わせを行っている。 連絡ノートなどでの引継ぎを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	HUGアプリにて、日々の記録をつけており、振り返りができるようにしている。 その他、職員申し送りノートで改善や変更の確認を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	月単位のプログラムや活動から、盛り込めるよう工夫している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	手順書や絵カード、ひらがな表で自己発信できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		体制に特に問題は感じないが、実際にそういった場面は少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	HUGアプリや電話以外にもLINEでの連絡方法を利用している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		あまりそういった機会がない。 保護者様を通してプロフィールシートを提出いただくことはある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	児童発達支援管理責任者を中心に必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	地域の療育センターの見学会などに参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		交流の機会はない。保護者様からのご希望がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	面談や送迎時に行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		保護者の方への研修機会は少ない。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明をしている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談時に確認をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	ご納得いただいた上で説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	父母会等のご要望がない。進路などのお悩みを吸い上げたものを事業所からお伝えしている。	引き続き、面談の機会に進路や就労についての過去の事例などをお伝えできるようにしていく。ご希望があれば交流会を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速な対応が出来る様、連絡体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HUGアプリでの発信を中心にHPでのブログ、またはLINEを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	留意されている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	配慮できている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	地域の方を招待する機会の予定はないが、保護者の方を対象に見学会は行っている。	地域の行事などへの参加の機会を作っていくたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	緊急用持ち出しファイルの用意をしている。	保護者様への周知の機会が少ない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に二回、5月と11月に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時の基礎調査資料や、定期的な面談で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	契約時の基礎調査資料や、定期的な面談で確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3		常勤・非常勤職員の認識に差がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		保護者様への周知の機会が少ない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット報告書を作成、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	二か月に一度、虐待防止委員会での自己研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	やむをえない身体拘束がどのような場面で必要になるか、保護者様に説明し了解をいただいている。	身体拘束の具体的な身体の支え方について、個々に取り決めが必要である。	